

横浜市インフルエンザ流行情報 2号

横浜市健康福祉局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

インフルエンザが流行しています。

【概況】

2022年第52週(2022年12月26日～2023年1月1日)の定点あたりの患者報告数^{※1}は、横浜市全体で **3.41** と、前週の 2.59^{※2} から増加しました。

学級閉鎖等は、第49週(12月5日～12月11日)以降報告されており、第52週現在、合計5件(小学校5件、中学校0件)、患者数42人です。

今シーズン第52週までの市内の迅速診断キットの結果は、累計で **A型 99.0%**、**B型 1.0%**と、A型が多く検出されています。なお、全国のウイルス分離・検出状況^{※3}では、AH3型が多く検出されており、横浜市での検出状況も同様です。

今シーズンは、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されます。同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。本格的な流行の前に、ワクチン接種、発熱などの体調不良時に備えた検査キットや解熱鎮痛薬の用意、咳エチケットや正しい手洗い^{※4}等、早めの準備^{※5}が重要です。

※1 定点あたりの患者報告数とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内153か所)から報告された患者数の平均値です。

※2 追加報告があったため、以前お知らせした情報から報告数が更新されています。

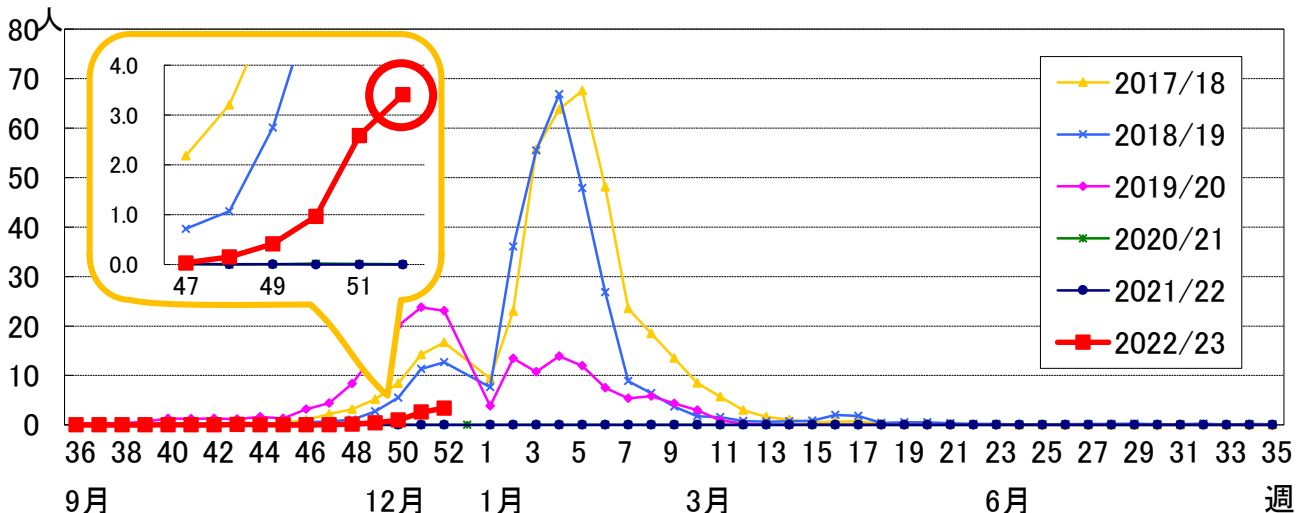
※3 [インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

※4 [横浜市保健所ホームページ](#)(「正しい手洗い方法」および、掲示用ポスター「石けんで『手』を洗おう」をトップページに掲載しておりますので、是非ご活用ください)

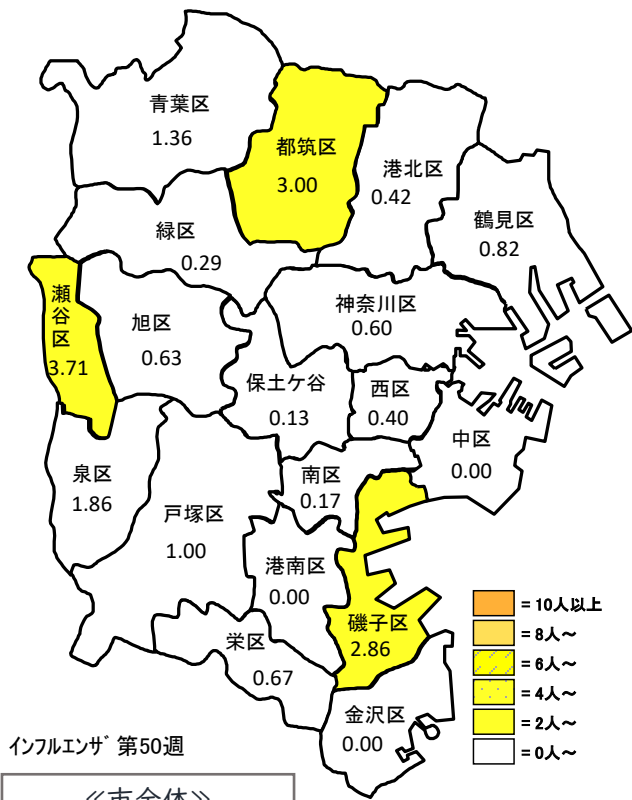
※5 [市民向けインフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、第48週は0.15、第49週は0.42、第50週は0.97と増加し、第51週で2.59^{※2}となり、流行開始の目安となる1.00を上回りました。第52週は3.41となっています。

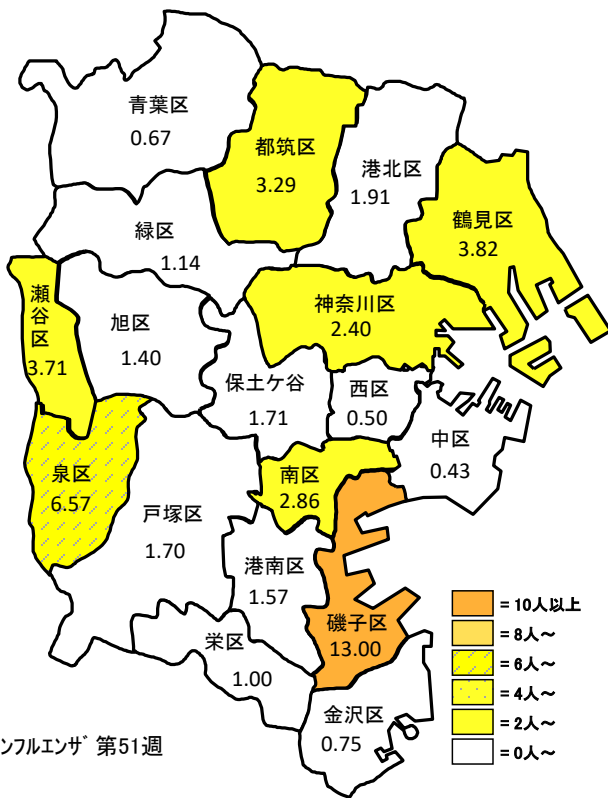


地図で表した直近 3 週間の区別流行状況
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)



インフルエンザ 第50週

《市全体》
第 50 週 0.97



インフルエンザ 第51週

《市全体》
第 51 週 2.59^{※2}
【流行開始】

【参考】

直近流行(2019/20 シーズン)の流行推移

流行の開始【定点あたり 1.00 以上】

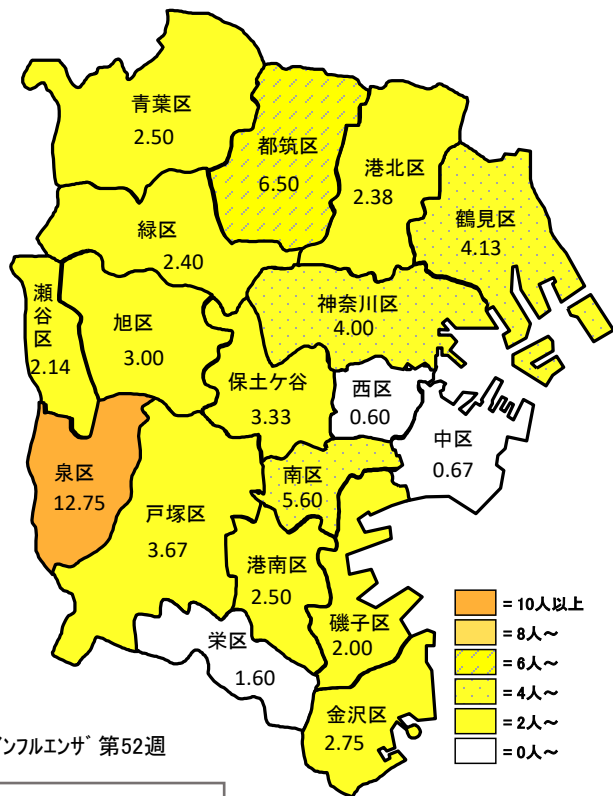
第 40 週(2019 年 9 月 30 日~10 月 6 日)

流行注意報発令【定点あたり 10.00 以上】

第 49 週(2019 年 12 月 2 日~12 月 8 日)

流行注意報解除【定点あたり 10.00 未満】

第 6 週(2020 年 2 月 3 日~2 月 9 日)



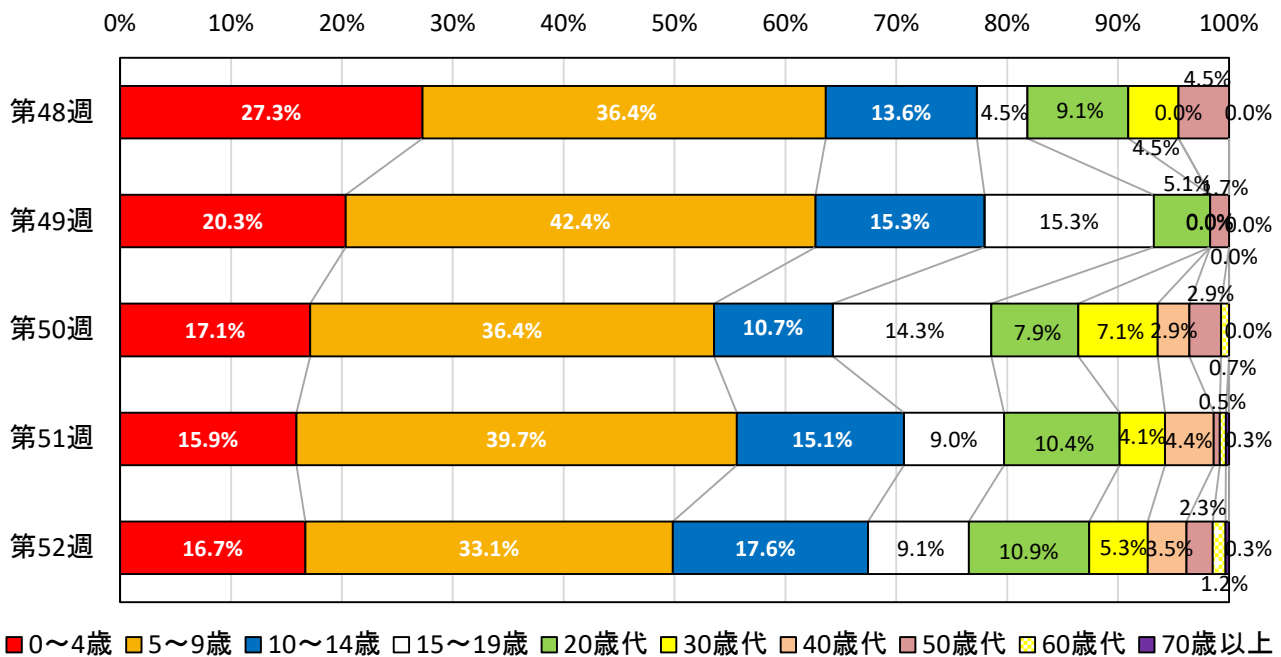
インフルエンザ 第52週

《市全体》
第 52 週 3.41

【年齢層別集計】

第52週の患者年齢構成は、10歳未満が49.9%、10歳から15歳未満が17.6%となっており、15歳未満が全体の67.4%を占めています。

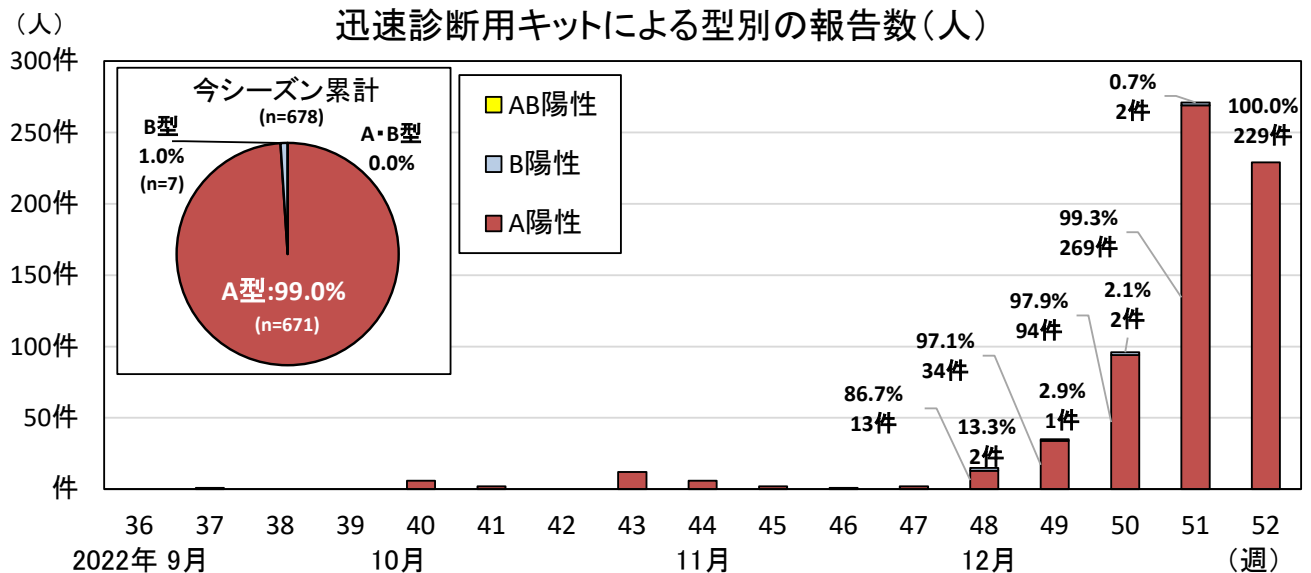
年齢層別患者割合



【迅速キット結果】

第52週の迅速キットの結果は、A型が検出されています。今シーズン累計では、A型99.0%、B型1.0%となっています。

横浜市の患者定点医療機関における
迅速診断用キットによる型別の報告数(人)



※参考リンク

- 近隣自治体の流行状況 ○神奈川県 ○川崎市 ○東京都
- 全国の流行状況 ○国立感染症研究所

【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(370)9237
横浜市健康福祉局健康安全課 TEL 045(671)2463